

## 余部駅時刻表 (2024年3月16日現在)

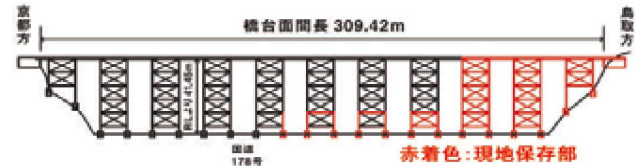
### A 山陰線 標準時刻 San-in Line Timetable

浜坂・鳥取 方面 for Hamasaka, Tottori			城崎温泉・豊岡 方面 for Kinokawabuchi, Toyooka		
平日 Weekdays	土休日 Saturdays and Holidays		平日 Weekdays	土休日 Saturdays and Holidays	
5	5		5	5	
6	6		6	6	24
7	38	7 38	7	16	7 16
8	39	8 39	8	16	8 16
9	9		9	9	
10	10		10	46	46 城崎
11	8	11 8	11	11	
12	43	鳥取	12	20	12 20
13	13		13	13	
14	14		14	33	14 33
15	0	15 0	15	15	
16	16		16	21	16 21
17	5	鳥取	17	37	17 37
18	23	18 23	18	18	
19	46	19 46	19	1	19 1
20	20		20	40	20 40
21	4	21 4	21	21	
22	18	22 18	22	22	
23	23		23	23	
0	0		0	0	

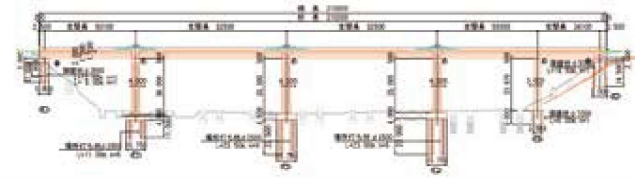
記 事  
 [浜坂・鳥取方面] 黒=普通 (行先) ※接続列車の運転日にご注意ください。  
 鳥取=鳥取行 その他は浜坂行  
 [城崎温泉・豊岡方面] 黒=普通 (行先) ※接続列車の運転日にご注意ください。  
 (行先) 城崎=城崎温泉行行 その他は豊岡行

一時的な時刻の変更や臨時列車の情報など、詳しくは [JR おでかけネット](#)

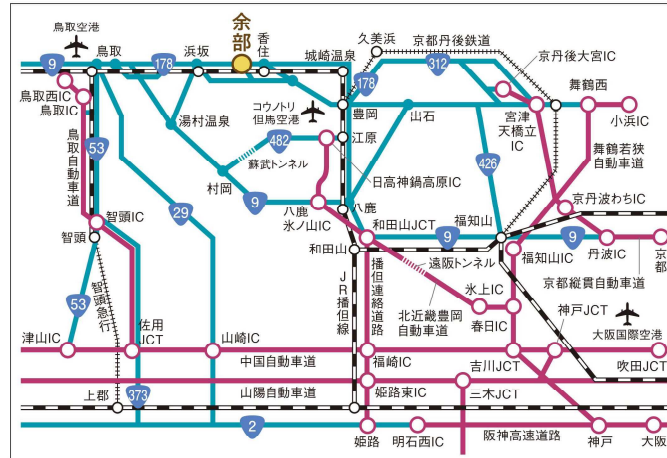
### 余部鉄橋(旧橋)の概要



### 余部橋梁の概要



### 交通のご案内

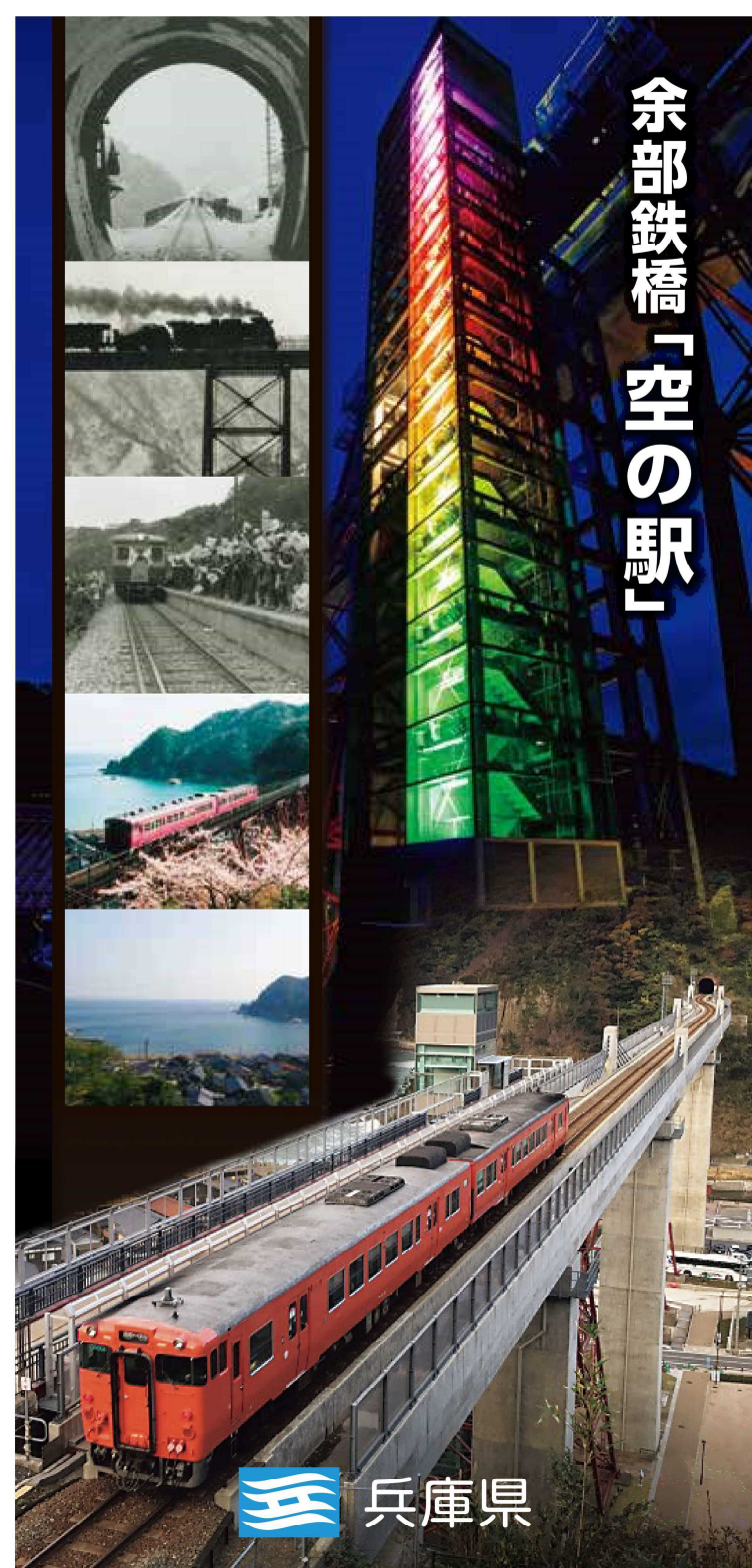


兵庫県 県土整備部県土企画局 交通政策課 TEL. 078-341-7711(代表)

兵庫県 但馬県民局 新温泉土木事務所 TEL. 0796-82-3141(代表)

### 余部鉄橋を現地保存した経緯

- [沿革]
- 明治 45 年 余部鉄橋の完成
- 昭和 34 年 鏝駅と久谷駅間に餘部駅が完成
- 昭和 61 年 突風による列車転落事故が発生
- 昭和 63 年 風速に関わる運転抑止基準が 25m/s→20m/s に強化→列車の運休や遅延が頻発
- 平成 3 年 余部鉄橋対策協議会(兵庫県、鳥取県、両県の 5 市 7 町及び商工会等 4 団体で構成)が発足
- 平成 14 年 JR 西日本より防風壁設置が困難との見解が示される。余部鉄橋対策協議会において鉄橋を架け替える方針を決定
- 平成 17 年 日本の近代土木遺産に指定(社)土木学会)
- 平成 18 年 橋梁形式をエクストラードード PC 橋に決定
- 平成 19 年 「余部鉄橋の保存と再出発に向けた提言」架替工事着手
- 平成 21 年 「余部鉄橋活用基本計画」旧鉄橋の餘部駅側 3 橋脚 3 スパンを現地保存し、展望施設「空の駅」として活用
- 平成 22 年 余部鉄橋保存活用事業計画策定 新橋梁供用開始
- 平成 24 年 「空の駅」工事着手
- 平成 25 年 「空の駅」展望施設供用開始(5 月 3 日) 「空の駅」公園施設供用開始(8 月 1 日)
- 平成 29 年 余部クリスタルタワー供用開始(11 月 26 日)



余部鉄橋「空の駅」



### 余部鉄橋「空の駅」は旧橋の歴史を後世に継承し、人々の交流を促進します

明治45年(1912年)に建設された余部鉄橋は、当時、東洋一と呼ばれた鋼トレスル橋梁で、山陰地域の鉄道の運行を支えてきました。しかし、昭和61年(1986年)の列車転落事故を受け、風速による運行規制が強化され、列車の安全性と定時性の確保の両方が大きな課題となりました。そこで、平成22年(2010年)に、防風壁を備えた新橋梁を建設し、余部鉄橋はその役目を終えることになりました。

しかし、余部鉄橋は、当時の土木技術の粋を集めて建設され、約1世紀にわたり日本海の風雪に耐えた施設であることから、保存や利活用を求める声が多く寄せられました。このため、余部駅側の3橋脚3スパンを現地保存し、展望施設として活用するとともに、鉄橋直下に公園施設も整備し、余部鉄橋を後世に伝えることとしました。

### 余部鉄橋「空の駅」展望施設

平成22年8月、新しくコンクリート橋に架け替えられ、JR余部駅側の3本の橋脚は現地保存され展望施設として生まれ変わりました。地上高約40mの浮遊感や日本海の美しい眺めをお楽しみください。

**1 旧軌道**

当時の線路を保存した先端部

**2 展望施設**

山側 海側  
レール  
ガラス窓

レールをイメージした展望施設(高さ40mの直下を眺められるガラス窓)

**3 旧軌道**

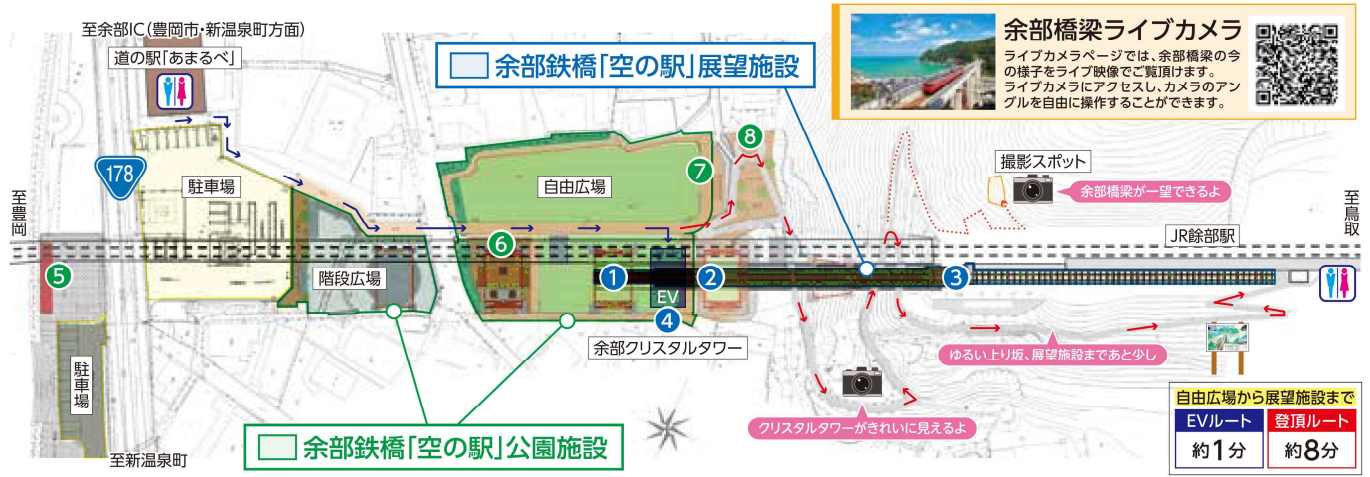
山側 海側  
スロープ 枕木  
レール

映画「スタンド・バイ・ミー」のシーンを偲ぼせる、線路の上を歩くアプローチ

**4 余部クリスタルタワー**

海側 山側

地上から約45秒で展望施設に到着



### 余部鉄橋「空の駅」公園施設

芝生張りの自由広場や余部鉄橋の橋脚跡を活用した東屋などでゆったりとした時間を過ごすことができます。

**5 主桁モニュメント**

「余部橋りょう」と書かれた当時の主桁

**6 「空の駅」の開設記念碑・東屋**

旧鉄橋の橋脚 記念碑  
旧鉄橋の枕木

**7 自由広場**

すべり台、ブランコ等の遊具を西側に配置

**8 JR余部駅記念碑(昭和34年)**

記念碑(駅設置を決めた当時の阪本知事揮毫)

